



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL <http://www.nabtesco.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小谷 和朗
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 松本 敏裕 (TEL) 03-5213-1133
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	141,806	6.6	12,794	24.6	16,098	32.4	9,860	9.7
25年3月期第3四半期	133,016	△9.1	10,267	△41.5	12,154	△35.1	8,989	△20.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 16,730百万円(83.4%) 25年3月期第3四半期 9,123百万円(△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	77.66	77.57
25年3月期第3四半期	70.84	70.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	218,931	130,897	56.2
25年3月期	203,056	120,857	56.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 122,946百万円 25年3月期 114,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,900	10.8	18,500	23.2	22,100	23.5	13,900	4.7	109.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	128,265,799株	25年3月期	128,265,799株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,736,293株	25年3月期	828,516株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	126,983,395株	25年3月期3Q	126,906,403株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
(1) セグメント別生産高、受注残高	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済の回復基調や欧州経済での底打ちの兆しが見られたものの、新興国経済の成長鈍化など先行きへの不透明感が継続しました。一方、日本経済においては円安・株高に伴う景況感や輸出環境の改善に加え、企業収益の改善が進行し、緩やかな回復傾向が見られました。

このような中、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績については、精密減速機事業、包装機事業および船用機器事業において売上が減少したものの、鉄道車両用機器事業、商用車用機器事業での売上拡大に加え、自動ドア事業、航空機器事業、油圧機器事業での為替効果を受けて、売上高は前年同期に比べ増収となりました。営業利益、経常利益、四半期純利益についても増益となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比36,810百万円(28.5%)増加し、166,042百万円となりました。売上高は、前年同期比8,790百万円(6.6%)増加の141,806百万円となり、営業利益は同2,527百万円(24.6%)増加し、12,794百万円となりました。売上高営業利益率は同1.3ポイント上昇し、9.0%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	増減率(%)
精密機器事業	27,338	35,944	31.5
輸送用機器事業	30,268	42,908	41.8
航空・油圧機器事業	37,006	41,605	12.4
産業用機器事業	34,618	45,584	31.7
合計	129,231	166,042	28.5

【売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	増減率(%)
精密機器事業	30,963	29,966	△3.2
輸送用機器事業	32,498	36,938	13.7
航空・油圧機器事業	35,844	38,047	6.1
産業用機器事業	33,710	36,853	9.3
合計	133,016	141,806	6.6

【営業利益】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	増減率(%)
精密機器事業	3,522	4,208	19.5
輸送用機器事業	2,799	4,326	54.5
航空・油圧機器事業	1,504	2,385	58.6
産業用機器事業	2,441	1,873	△23.3
合計	10,267	12,794	24.6

【精密機器事業】

精密機器事業の受注高は、前年同期比31.5%増加し35,944百万円となりました。売上高は前年同期比3.2%減少の29,966百万円、営業利益は同19.5%増加し4,208百万円となりました。

精密減速機の売上高は、産業用ロボットメーカー向けは前年並みに留まりましたが、前期に計上した太陽熱発電向けの売上が今期は計上されなかったことにより減収となりました。営業利益は、間接費の削減等により増加しました。

【輸送用機器事業】

輸送用機器事業の受注高は、前年同期比41.8%増加し42,908百万円となりました。売上高は前年同期比13.7%増加の36,938百万円、営業利益は同54.5%増加の4,326百万円となりました。

鉄道車両用機器は、海外向け売上の増加、国内での補修部品需要の増加により増収増益となりました。商用車用機器では、国内外でのトラック需要が堅調に推移し、増収増益となりました。船用機器の売上高は、船舶市況低迷の影響を受けて微減となりましたが、営業利益は横ばいとなりました。

【航空・油圧機器事業】

航空・油圧機器事業の受注高は、前年同期比12.4%増加し41,605百万円となりました。売上高は前年同期比6.1%増加の38,047百万円、営業利益は同58.6%増加し2,385百万円となりました。

航空機器は、民間航空機需要の拡大および為替効果により増収増益となりました。油圧機器は、中国における建設機械需要減の影響を受けたものの、生産性向上および為替効果により増収増益となりました。

【産業用機器事業】

産業用機器事業の受注高は、前年同期比31.7%増加し45,584百万円となりました。売上高は前年同期比9.3%増加の36,853百万円、営業利益は同23.3%減少の1,873百万円となりました。

自動ドアは、国内市場の堅調な推移に加え、為替効果を受け増収となりましたが、製品構成の変化により営業利益は減少しました。包装機は、前期に発生した国内製糖業界での更新需要が一巡したことに加え、海外向けの売上減少により減収減益となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	増減率 (%)
日本	78,640	81,643	3.8
アジア	22,900	27,765	21.2
北米	9,490	10,987	15.8
ヨーロッパ	21,588	21,002	△2.7
その他地域	395	408	3.2
合計	133,016	141,806	6.6

- (注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。
2 アジア向けの増は主に鉄道車両用機器の中国向け増加によるものです。
3 北米向けの増は主に航空機器の増加によるものです。
4 ヨーロッパ向けの減は主に精密減速機の減少によるものです。

② 経常利益

当第3四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比3,943百万円(32.4%)増加の16,098百万円となりました。

主な増加要因は、前述の通り営業利益が増加したことによるものでありますが、営業外収益は持分法による投資利益の増加や、為替差益の発生により前年同期比1,354百万円増加の3,652百万円、営業外費用は前年同期並みの348百万円となりました。

③ 四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比871百万円(9.7%)増加の9,860百万円となりました。

特別利益は、前年同期に計上したグループ会社の株式交換完全子会社化に伴う負ののれん発生益が今期は発現しなかったこと等により前年同期比748百万円減少の335百万円、特別損失は、退職給付制度改定損の発生等により、前年同期比894百万円増加の1,032百万円となりました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期比2,301百万円増加の15,401百万円となりました。法人税等は前年同期比1,453百万円増加の5,305百万円となり、少数株主利益は、前年同期比23百万円減少の235百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成25年12月31日)	増減額
総資産	203,056	218,931	15,875
負債	82,198	88,034	5,835
純資産	120,857	130,897	10,039

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は121,159百万円、固定資産は97,771百万円であり、その結果、総資産は218,931百万円と前連結会計年度末比15,875百万円の増加となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加6,927百万円、受取手形及び売掛金の増加5,429百万円、たな卸資産の増加4,241百万円及び投資有価証券の増加3,751百万円であります。一方、主な減少要因は、有価証券の減少7,998百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は66,826百万円、固定負債は21,207百万円であり、その結果、負債合計は88,034百万円と前連結会計年度末比5,835百万円の増加となりました。主な増加要因は支払手形及び買掛金の増加4,056百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は130,897百万円であり、自己資本は122,946百万円と前連結会計年度末比8,907百万円の増加となりました。主な増加要因は、四半期純利益9,860百万円に伴う利益剰余金の増加、在外子会社の為替変動による為替換算調整勘定の増加4,942百万円及び少数株主持分の増加1,164百万円であります。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少4,356百万円及び自己株式の増加2,246百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は概ね予想どおりであり、平成25年10月31日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

退職給付制度の改定

当社は平成25年7月1日付で確定給付企業年金制度を終了し、その全額を確定拠出企業年金制度に移行することにより、確定拠出企業年金制度が退職給付制度に占める割合を、これまでの30%から60%に引き上げております。

本移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用し、第3四半期連結累計期間において特別損失を837百万円計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,904	20,831
受取手形及び売掛金	45,131	50,561
有価証券	26,998	18,999
商品及び製品	3,957	5,802
仕掛品	7,808	9,685
原材料及び貯蔵品	8,764	9,283
繰延税金資産	2,606	2,694
その他	2,994	3,521
貸倒引当金	△118	△220
流動資産合計	112,048	121,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	44,042	46,343
減価償却累計額	△27,504	△28,321
建物及び構築物(純額)	16,537	18,021
機械装置及び運搬具	60,129	63,667
減価償却累計額	△41,497	△44,787
機械装置及び運搬具(純額)	18,631	18,880
工具、器具及び備品	21,290	22,822
減価償却累計額	△19,022	△20,279
工具、器具及び備品(純額)	2,267	2,543
土地	14,592	14,591
建設仮勘定	2,447	887
有形固定資産合計	54,475	54,923
無形固定資産		
のれん	15,808	17,756
その他	1,771	2,557
無形固定資産合計	17,579	20,314
投資その他の資産		
投資有価証券	16,902	20,653
繰延税金資産	482	477
その他	1,716	1,555
貸倒引当金	△147	△152
投資その他の資産合計	18,953	22,534
固定資産合計	91,008	97,771
資産合計	203,056	218,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,026	32,082
短期借入金	6,098	6,384
1年内返済予定の長期借入金	70	10,042
未払法人税等	3,222	3,210
製品保証引当金	1,105	930
受注損失引当金	14	0
その他	13,783	14,175
流動負債合計	52,322	66,826
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	10,220	364
退職給付引当金	7,022	6,519
役員退職慰労引当金	187	197
繰延税金負債	1,376	1,830
その他	1,070	2,295
固定負債合計	29,876	21,207
負債合計	82,198	88,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	19,026	19,011
利益剰余金	83,606	89,107
自己株式	△739	△2,986
株主資本合計	111,894	115,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,294	2,031
繰延ヘッジ損益	△0	△11
為替換算調整勘定	851	5,793
その他の包括利益累計額合計	2,144	7,813
新株予約権	304	271
少数株主持分	6,514	7,679
純資産合計	120,857	130,897
負債純資産合計	203,056	218,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	133,016	141,806
売上原価	100,696	104,422
売上総利益	32,320	37,384
販売費及び一般管理費	22,052	24,589
営業利益	10,267	12,794
営業外収益		
受取利息	87	105
受取配当金	69	67
受取賃貸料	181	175
持分法による投資利益	1,572	2,477
為替差益	101	549
その他	285	276
営業外収益合計	2,297	3,652
営業外費用		
支払利息	181	163
その他	229	184
営業外費用合計	410	348
経常利益	12,154	16,098
特別利益		
固定資産売却益	45	192
出資金売却益	—	38
ゴルフ会員権売却益	10	—
負ののれん発生益	1,026	—
段階取得に係る差益	—	104
特別利益合計	1,083	335
特別損失		
固定資産処分損	76	96
投資有価証券売却損	6	—
投資有価証券評価損	1	—
ゴルフ会員権評価損	0	0
株式交換関連費用	53	—
退職給付制度改定損	—	837
環境対策費	—	65
持分変動損失	—	33
特別損失合計	138	1,032
税金等調整前四半期純利益	13,099	15,401
法人税等	3,851	5,305
少数株主損益調整前四半期純利益	9,248	10,095
少数株主利益	258	235
四半期純利益	8,989	9,860

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,248	10,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	710
繰延ヘッジ損益	△5	△11
為替換算調整勘定	12	5,789
持分法適用会社に対する持分相当額	7	146
その他の包括利益合計	△124	6,634
四半期包括利益	9,123	16,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,888	15,529
少数株主に係る四半期包括利益	235	1,200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年11月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は、当第3四半期連結累計期間に2,378百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において2,986百万円となりました。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,963	32,498	35,844	33,710	133,016	—	133,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	119	690	72	903	(903)	—
計	30,984	32,617	36,535	33,782	133,919	(903)	133,016
セグメント利益	3,522	2,799	1,504	2,441	10,267	—	10,267

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△903百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

「産業用機器事業」セグメントにおいて、当社を完全親会社としナブコドア株式会社を完全子会社とする株式交換を、平成24年8月1日にて完了しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,019百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「精密機器事業」のセグメント利益が55百万円、「輸送用機器事業」のセグメント利益が13百万円、「航空・油圧機器事業」のセグメント利益が40百万円、「産業用機器事業」のセグメント利益が6百万円それぞれ増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精密 機器事業	輸送用 機器事業	航空・油圧 機器事業	産業用 機器事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	29,966	36,938	38,047	36,853	141,806	—	141,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	117	863	61	1,079	(1,079)	—
計	30,004	37,056	38,911	36,914	142,886	(1,079)	141,806
セグメント利益	4,208	4,326	2,385	1,873	12,794	—	12,794

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額は、セグメント間取引消去△1,079百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別生産高、受注残高

① 生産高

報告セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
精密機器事業	32,781	23.6	29,980	20.6
輸送用機器事業	33,749	24.3	37,562	25.8
航空・油圧機器事業	36,654	26.3	39,836	27.3
産業用機器事業	35,824	25.8	38,319	26.3
合計	139,009	100.0	145,699	100.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。

② 受注残高

報告セグメントの名称	前第3四半期連結会計期間末 (平成24年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成25年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
精密機器事業	9,002	13.4	14,825	15.9
輸送用機器事業	17,209	25.6	22,339	23.9
航空・油圧機器事業	25,418	37.8	31,263	33.5
産業用機器事業	15,558	23.2	24,929	26.7
合計	67,188	100.0	93,358	100.0

(注) 1 上記の金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれていません。